



発行所
山形県立寒河江工業
高等学校 P T A
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第 65 号
平成23年7月20日



3月11日に発生しました東日本大震災、多くの方々が亡くなり被災されましたことに、心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。1日でも早い復興を願っております。大震災の影響で、日本経済も冷え込み子供たちの進路についても多少影響が出てくることも懸念されております。

東北を復興するには、現在寒河江工業高校で学んでいるエンジニアのジュニア達には大いに期待したいところでもあります。



PTA会長

高橋 善浩

とも、子供達のため、保護者同士も絆を深め、先生や子供とも腹を割って話ができる環境を作っていたきたいと思えます。ぜひ皆さんから、PTA活動に積極的に参画していただければ、復興への主人公となる子供たちが「絆」を思い心豊かな社会人になれるはずです。私たちPTAが一丸となりがんばる姿を子供たちへ見せていきましょう。今後とも皆様方のご協力をお願い致します。

最近、「がんばろう日本!、がんばろう東北!」のスローガンのもと「絆」の言葉がよく使われています。昨年度PTAの皆さんにお願いしましたアンケートでも、コミュニケーション力は、人間・人格形成の過程では重要なファクターであるご意見が多く寄せられました。隣人や、仲間たちと密接な関わりを持てる能力、困っている方がいれば助

「絆」・がんばろう寒工生!

動を継続してまいりました。今後

けたいと思う心など、確かに昔から日本人に具わっていた本能かもしれません。通信手段や技術の発展で、電話やメールで用件が済んでしまうこの頃フェース・ツー・フェースが苦手になった方々が増えているのも現実のようです。寒河江工業高校PTAは県内で有名な程、活発な活動をしています。保護者と先生方、そして子供たちとのコミュニケーションを大切に、互いの絆を強めるために諸活動

各専門部より

一致団結

総務部部長 伊藤 俊哉

13の地区会長と各学年より二名ずつ選出の部員で活動していきます。地区別の懇談会・ボランティア・レクリエーション大会・PTA総会活動・みこし祭・寒工祭等の企画運営、広報支援をしていきます。今年は村山地区高P連研修会が河北で開催されますので、多数の参加を呼びかけていきたいと思えます。また平成25年度からの一学級減に伴う組織及び活動の在り方などを検討し、各地区から意見を頂き、来年度への要望と参考にしたいと思っております。寒河江工業PTAに、役に立ててもらいたいと思っております。

ルール

育成部部長 小野 忠男

日本語で言えば規則のことです。社会、会社、学校、友達、家庭にもルールというものがあります。ルールを守る事によって、人は守られてい

ると思えます。育成部としては、マナーアップ運動・みこし祭の協力等をやっています。多くの地域の方の、ふれあいと、自分が他の人の為にできる事はなにか、それを見つけて欲しいと思えます。私も育成部に携わって3年目になりますが、自分も生徒達から色々な事を学んだ気がします。これからも、先生、保護者の方々の協力を得ながらやっていきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

親睦と絆を深めて

体育部部長 安孫子賢吉

体育部の主な活動は、何と言っても今年で第34回を迎える、PTA地区対抗レクリエーション大会です。今年より、男子の競技種目が変わり、男女共ソフトバレーボールでの開催となります。

今年も、地域の保護者と生徒が共に汗を流し一致団結し親睦を深め、各地区の絆が最も深まる瞬間で、大きな意味のある行事だと言えます。大会の準備・運営に携わつ

て頂く、各地区の体育部員及び学校、先生方のご協力を頂き、大会を成功させたいと思っています。

又、地区会員皆様方のご参加、宜しくお願い致します。

架け橋

文教部部長 安孫子正年

今年度文教部部長を務めます安孫子と申します。宜しくお願致します。文教部の主な活動は、今皆様がお手にしておりますこのPTA新聞、「輝くエンジニア」です。昨年度名称募集を行い決定致しました。部員は、各地区1名ずつ、各学年1名ずつの計16名で、7月と2月の年2回発行します。部員と協力して、より一層多くの情報を提供し学校・家庭・そして地域の架け橋となる新聞。また親子がコミュニケーションをはかれる新聞。「輝くエンジニア」を皆様にお届けしたく活動をしております。

また、いろんな呼びかけも致しますので皆様方のご協力の程宜しくお願い致します。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。

大震災の混乱の中始まった1学期ですが、まもなく終わろうとしております。比較的落ち着いた授業展開ができたと思います。生徒の様々な活躍がありました。弓道部が東北大会で団体優勝した事は快挙であり誇りに思います。ここぞという集中力に感心しています。土木科のサーベイコンテスト県大会優勝、これも東北大会

大震災に思う



校長

吉田 敏明

4ヶ月経った今も、原発の事故や政治の混乱もあり、復興・復興が進んでいません。たくさんの被災者の方が困っています。被災者の事を思うと心が痛みます。

一方、私たちの普段の生活が戻るにつれて、その事を忘れつつあるのでないかと危惧しています。特に高校生がどのくらい意識しているかが気がかりです。この未曾有の大災害が、もうすでに、遠い世界の事や、遠い過去の事のようには感じてはいないか心配です。報道に接し、あるいは現地に出かけ、現実を直視してほ

くさんあり、よく健闘したと思います。3年生はこれから就職試験や進学試験などで、進路決定の時期に突入します。健闘を祈ります。

さて忘れられない3月11日から約4ヶ月が過ぎました。しばらくの間、日常生活が失われました。大規模な停電、ガソリン不足、スーパーなどでの品不足です。当たり前な生活のありがたさを身にしみて感じました。便利な生活に慣れすぎていた事を思い知らされました。

いま直面している出来事は日本にとって歴史的な大事件です。しばらくはこの影響を受けることになりました。自分達はどう乗り切ったか、歴史を自分の体験を、後世に語ることが出来る人であってほしいと願っています。

ボランティア・シリーズ

「良き伝統を大切に」

山辺地区PTA会長

鈴木 賢一

毎年恒例の山辺地区ボランティア活動を、7月10日(日)の午前6時より、山辺駅で行ないます。

駅周辺や駅前広場駐輪場の清掃及び草刈りをしたいと考えております。

普段何気なく使っている駅を親子できれいにするという事に、大変大きな意義を感じています。子供が高校生ともなると、親子が一緒に活動する事など一段と、少なくなり、年に一度でも、PTA主催である親子ボランティア活動がある寒河江工業高等学校の伝統を大切にしていきたいと思

この活動を通し、親子の絆をより一層深めると共に、これからも、感謝の気持ちを忘れる事なく、子供達の将来にプラスになる事を期待し、無事に終わる事が出来ればと思います。

なにぶん、早朝の作業の為に、大変とは思いますが、この活動を理解して頂き、たくさんの方の参加を期待しております。

「ボランティア活動」

天童地区PTA会長

齋藤 祐一

天童地区では、ボランティア活動として、昨年から天童舞鶴山公園の清掃活動を行なっております。

今年は東日本大震災があり「人間将棋」は中止となりましたが、春の伝統行事として再開出来る様、将棋盤の周りや、頂上の駐車場付近などのゴミ拾いを行いました。普段、保護者と一緒に活動する機会も少なくなっている中で、子供達とのコミュニケーションをとる良い機会になったと思います。

またこの様なボランティア活動を通し、生徒達が何かを感じとってくれる事を願っています。これからも、この様な活動を続けていきたいと思



若草のみち活動

事務局 沼澤 寿美

「若草のみち」とは、西寒河江駅〜米沢十字路間の道路をいい、地域の住民・企業・学校が連携し交通安全と環境美化に励む継続34年の活動のことです。

6月3日に、生徒職員と地域の企業・住民の方々と道路沿いの除草・花植えを行い、沿道が見違えるほど清々しくなりました。特に今回は、市の緑となつてゐる寒河江ギボウシを初植栽し、地域連携を深めたところで





第59回山形県高P連研修会 (最北大会)に参加して

PTA副会長 兼 子 忠 雄

先日6月10日、新庄市民文化センターを会場に標記の研修会に、本校から教頭先生をはじめとして4名、県内から51校、300名を超える参加がありました。昨年までは2日間の日程で行なわれていましたが、今年から1日に短縮されたの何となく忙しい感じのする研修会でした。午前中は酒田北高、鶴岡工業、長井高の順でそれぞれのPTA活動に関する発表があり、午後からは、白色有機ELの開発で世界的に有名な山形大学理工学研究科教授の城戸淳二氏を迎えての講話がありました。これらの中で特に城戸教授の話の中に考えさせられる事がたくさんありました。私が特に考えさせられた言葉を私の考えた事と共に字数の許す限り述べたいと思います。《成功体験が今の私を創った》皆さんはどう思われますか？私もこれまでに幾度となく耳にした言葉ですが、今回は強く胸に残りました。PTA役員としての『自覚』が生じて来たからかなと思います。私は、経験は体験の積み重ねであり、経験はその人の人格や思考を



育てる基であると思っています。では先程の言葉の根本となるのは何でしょうか。私は『自信』だと思っています。では自信の根本は何か。私は最低限『基礎学力を身に付ける事』だと思っています。結局のところ、勉強しなさい、と言う事になります。ただ勉強するのはなく『自覚』を持つてする事。『自覚』とは何か？いろんな解釈の仕方があると思いますが、私は単純に『考える事』で良いと思います。考えながら勉強すれば気付く所が出てきます。この『気付き』こそが最も大事な事なのではないでしょうか。強い思い込みと鍛練で人の性格はいかようにも変える事ができる。戦国武将の武田信玄の言葉です。私も来年に向かって努力していきますが、皆さんも是非意見等々お願い致します。

東北高校選手権大会優勝!!

弓道部顧問 山田 奇

第41回東北高等学校弓道選手権大会が、6月25日から26日にかけて青森県弘前市の県武道館にておこなわれました。各県の県総体で優秀な成績を挙げた男女あわせて38チームが参加しました。

本校弓道部員はインターハイを目指し日々「射」に磨きをかけてきましたが、県総体では3位に終わりインターハ

サーベイコンテスト

指導教諭 門 脇 拓 真

6月1日(水)に第十九回サーベイコンテストが山形県総合運動公園で行われました。

サーベイコンテストは、山形県内の工業・農業高校の生



イを逃し、この東北大会が最後の大会となりました。公開練習と予選では思うような結果が出ず、最終日の決勝トーナメントが心配されました。決勝トーナメントは7人の思いが一つとなり集中力をきらすことなく、優勝というかたちで最後を飾ることができました。たくさんの応援、ご協力ありがとうございました。

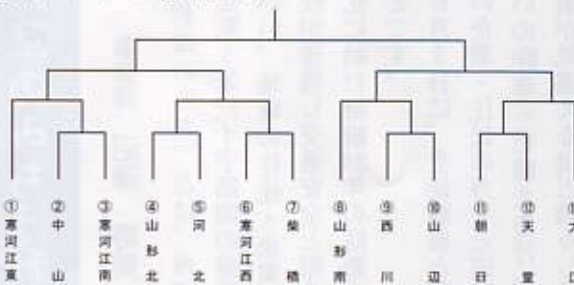
生徒達が、各部門四名で測量の時間と精度を競う大会です。平板・水準・トータルステーションの部に出場し、トータルステーションの部で見事優勝する事ができました。そして、8月末にある東北大会への出場権を得ました。

生徒達は、4月から練習を行い、優勝を目指していました。毎日の地道な努力と強い気持ちで、今後の生活の役に立つことを期待します。

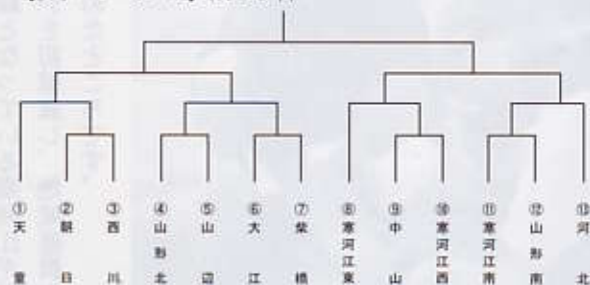
最後に、校長先生はじめ、多くの先生方、そして生徒のみなさん、保護者のみなさん応援ありがとうございました。

レクリエーション組合せ

【男子バレーボール】(H23年)



【女子バレーボール】(H23年)



ジュニアマイスターゴールドを取得して

電子機械科3年 渋谷 孝大



今回、私がジュニアマイスターゴールドを取得した際に、どんな事でもコツコツ積み上げれば達成出来るんだという事を実感しました。

私が資格を取ろうと思い始めたのは、一年生の時、危険物取扱者の検定試験の存在を知ってからです。その時の私は、この学校では様々な資格が取れることを知っていましたが、その試験にどうやって参加したらいいかわかりませんでした。しかし、希望すれば、全員受験できると知ったので、早速応募をしました。検定の勉強は初めての用語や決まりがとて多く、新鮮な気持ちで勉強する事が出来ました。そのおかげで、さほど勉強は苦にならず、試験にすんなり合格する事が出来ました。初めて自分の意志で資格を取れた時、自分に特別なものが身についたように感じて、とても嬉しくなり、何かを成し遂げた達成感を感じました。それから私は、取ることが出来る資格に次々と挑戦しました。資格勉強はそれぞれ全く違う物で、その違いに戸惑ったりしましたが、なんとか取ることが出来ました。

最初からジュニアマイスターを取りに行こうと思うよりも、今自分が取れる資格を一つ一つ確実に取得していく事が大切だと思います。今資格勉強をしている皆さんも、一つ一つを確実に取れるよう頑張ってください。私自身も、これからもっと努力して、様々な事を達成出来るよう頑張ります。

平成22年度資格取得の状況

※数字の見方(例1R37) 1年電子機械科の生徒が37名合格

計算技術検定4級	1R37・1E40・1C30
計算技術検定3級	1M22・1R31・1E32・1C30・2R3 2E1・2C11
計算技術検定2級	2R1
情報技術検定3級	1M30・1R32・1E40・1C27
情報技術検定2級	2R21・2E15・3E1
パソコン利用技術検定3級	2R1・1E25
パソコン利用技術検定2級	2E5
基礎製図検定	2M19・2R22
機械製図検定	3M11
初級CAD検定	3R29
土木施工管理技術者	3C1
第2種電気工事士	2R2・3R2・3E2
第1種電気工事士	3R1
2級ボイラー技士	1R1
危険物取扱者丙種	1M4・1R5・2R7・3R1・3E1
危険物取扱者乙種4類	2M3・2R1・3R1
危険物取扱者乙種5類	3M1
危険物取扱者乙種2類	3R1
工事担任者DD1種	3E1
工事担任者DD3種	3E1
小型車両建設系機械	3M5・3C6
QC検定4級	1M7・1R7・1E18・1C4・2M4・2R5 2E2・3R6
QC検定3級	2M3・2R2・2E2・3R2
CGエンジニア	2E1
日本語検定5級	1M25・1R31・1E31・1C18
日本語検定4級	2M16・2R16・2E20・2C9・3M9 3R27・3E17・3C3
漢字検定3級	1M1・1E3・1C1・2E1・3M3・3E1
漢字検定準2級	1M2・1R1・3R2・3E1・3C1
漢字検定2級	1M1・3E1
英語検定3級	2C1
工業英語検定	1M14・1R11・1E13・1C7
技能検定3級普通旋盤	3M4
技3マシニングセンタ	3M2
技3電子機器組立	2R1・3R2・3E7
技3電気系保全	3M9・2R4・3R4
技3機械検査	2M2・2R1
技3シーケンス制御	1R2・2R1
技3デジカライラストCAD	1M1・2M2・3M1・3E1
技能検定2級電子機器組立	3E4
技2電気系保全	2R2

避難訓練を終えて

総務部 日向 洋伸

5月31日(火)に春季避難訓練を実施しました。今年度は3月の東北地方太平洋沖地震の教訓を生かし、例年とは異なる訓練となりました。3月の地震当日、本校は高校入試の採点作業で生徒は全くいない状態でした。しかし、停電で放送設備が使えない中でどうやって生徒を避難させるのか？電車が止まった場合は、どうやって生徒を家に帰すのか？など、様々な問題が挙がりました。そこで今回は停電により放送設備が使えなくなると、その後、火災が発生したという想定で実施しました。

従来は放送によって避難指示を出していましたが、今回は全て教科担当から避難指示を出しました。

訓練当日、ハンドマイクで教室棟を駆け巡りながら、火災発生

の周知を行いました。中には実際に、複数の班に分かれていた班もあり、避難が無事に終わるか不安



な面もありましたが、避難が始まると生徒達は私語も殆どなく、迅速に移動しました。前日の雨により、グラウンドへの避難はできませんでしたが、全員が無事体育館へ避難する事ができました。生徒・職員の間は6分35秒。消防職員の方にも、良い評価を頂きました。今回の訓練で一人一人が危機意識を持つ事が重要だと改めて認識しました。

PTA総会

総務部長 伊藤 一夫

4月29日、会員の皆様のご協力により総会を終了することができました。

今年の総会は、授業参観を中止し、これまで別日程で行っていた3年生対象の進路説明会を学年総会の中に取り入れて行うようにしました。その結果、出席率は58・7パーセントとなり、昨年度より10パーセント増加しました。

これから各専門部の活動と各地区の活動が始まりますので宜しくお願いします。

新任の先生より



輝くエンジニアとは

教諭 舟越美和子

この4月に赴任し、電子機械科1年の担任をしています。まず感じたことは、趣のある校舎だということです。古い校舎ですが、落ち着きや安心感があります。通勤途中に見える月山や、校舎中庭の藤棚も美しく、このような環境の中で寒工生と学校生活を送られることを、嬉しく思っていました。

さて、赴任した当初から、様々な場面で「輝くエンジニア」というスローガンを目にします。「輝くエンジニア」とは、どのようなエンジニアなのでしょう。R1のある生徒に、「なぜうちの学校に入ってきた

の？」と質問したことがあります。その答えは、「モノづくりが好きだから」とのこと。彼らはこれから、この寒工工業高校で、たくさんのことを学び、作り、挑戦していくことでしょう。そして様々な経験を経て「輝くエンジニア」になっていくのだと思うと、思います。

「輝くエンジニア」とは何か？この答えは、これから生徒と共に歩んでいく中で、発見していきたいと思っています。私も、生徒たちも学校生活は始まったばかりです。彼らが「輝くエンジニア」になれるよう、私自身も努めていきます。これからよろしくお願ひします。

寒工版 “猛暑対策”

保健部より

養護教諭 室岡由美子

今や、県内でも珍しくなった木の廊下や隙間風……。一見涼しげにさえ見える本校の木造校舎だが、真夏の校舎内は間違いなく灼熱地獄と化す。6月の教室は、本格的な夏を前に軽く30度を超えるのだ。

に初めて扇風機が設置された。端っここの生徒たちは「風が来ない」と嘆くが、風の吹く場所が「一カ所ある」ということは画期的なことである。節電が叫ばれる中、保健委員会では「グリーンカーテン」の栽培も始めた。うまく行くかどうかは未知だが、グリーンの生い茂る涼しい木陰とおいしいゴーヤがたくさん実をつけるのを夢見て、水やりに奮闘する毎日である。

ものづくり産業担い手育成モデル事業

教諭 高橋直人

本校は、平成20年度より22年度の3年間「地域産業担い手育成プロジェクト」(文部科学省)「工業高校等実践教育導入事業(経済産業省)」の共同事業である「ものづくり産業担い手育成モデル事業」のモデル校として、指定を受けた。様々な事業に取り組みしたのでその一部を紹介しよう。

◆生徒の企業実習プログラム

本校は寒工工業団地内にあり、その「地の利」をいかし、実習の時間に、周辺の企業四社に出向き、学校では体験できない企業でのものづくり技術の習得や、企業現場の雰囲気を実験しました。

◆地域ネットワークの構築

小中学校との交流事業として、橋りょう模型製作やパソコン教室などの「ものづくり体験教室」を開催しました。

◆技術者招聘事業

高度な技能を有する企業人による実践的な実技指導や、一流講師陣による最先端セミナー等を開催し、多くの生徒が専門技術に興味を持ち技能向上を図る事ができました。

◆産学官連携共同研究

産学官連携事業として、ものづくり(組込み技術等)に関する共同研究に協力し、情報通信技術に関する共同研究に協力しました。

◆教員研修・実習

キャリア教育に関する研修では、全教員参加による地元企業の視察や経営者講話を実施

施しました。

これらの事業を実施すること、多くの成果を残すことができた。それは、「①地域と学校の連携がより深まった」「②生徒の地域理解がより深まった」「③生徒の専門学習への意欲が喚起された」「④全教員の工業分野に関する共通理解に繋がった。」などです。

しかし、これら多くの成果を残すことができた一方で、多くの課題も残りました。昨年度で事業は終了しましたが、継続するためには、この成果と課題を踏まえていかなければなりません。それは、「①お金のかからないもの」「②無理のないもの」「③人とのつながりを大切にしたいもの」ということです。

これらを踏まえて、今年度は、「①生徒の中期長期インターンシップ(就業体験学習)」「②教員の企業研修」の2つの事業を実施します。また、各科学年・教員(個人)規模で、「ものづくり体験教室」「企業技術者招聘による実技講習会」なども実施されます。

3年間の事業が終了しましたが、本校の地域とのネットワークを活かし、将来、地域産業の担い手となる生徒の育成につながる取り組みを継続していきたいと考えています。ご理解とご協力をお願い致します。

教職員の異動

【二退職】

秋葉 喜信 (情報技術)
高橋 克矢 (電子機械)
櫻田 隼至 (電子機械)
吉田 佳子 (家庭)
横山 博範 (保健体育)

【二転出】

白井 陽子 (国語)
霞城学園高
加藤 文範 (理科)

吉川 文夫 (保健体育)

山辺高
教育庁スポーツ保健課

会田健次郎 (情報技術)
山形工業高

大張 卓 (機械)
東根工業高

【二転入】

武田 正則 (情報技術)
東根工業高

柴田 欽也 (理科)
左沢高

佐藤 正 (機械)
長井工業高

菅谷 明浩 (保健体育)
上山明新館高

舟越美和子 (国語)
高島高

湯澤 一 (電子機械)
東根工業高

日向 洋伸 (情報技術)
新庄神室産業高

矢口 利枝 (家庭)

大泉 桂 (保健体育)